

株主各位

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

第 17 期 定時株主総会 質疑応答要旨

本資料は、2021 年 6 月 29 日（火）に開催した当社第 17 期定時株主総会において出席者の皆様からいただいたご質問と回答について、その要旨を記載しております。

Q1	年間の広告宣伝費について
A	当社グループの範囲が非常に広く、一概には言えませんが、当社グループは BtoB の事業がメインであり、現時点で多額の広告宣伝費を投じることはしていません。そのような中、残念ながら、コロナ感染拡大の影響により中核事業会社である G S ユアサにおいて協賛している、女子テニスの国際大会である GS YUASA OPEN の企画後援や平安神宮 紅しだれコンサート、びわ湖毎日マラソン大会、高校生のエコ電レース等が中止となりました。
Q2	サンガスタジアム by KYOCERA への広告の設置について
A	当該スタジアムへの広告掲出については、現在行なっていません。ただし、地域貢献のための個々の案件の検討は逐次進めたいと考えています。なお、京都サンガ F.C. に対しては、現在シルバートナーとして協賛を行なっています。
Q3	社外取締役の兼職数について
A	兼任先の業務内容および業務負荷等を勘案した上、取締役会で検討し、当社において適切に職責を果たしていただけると判断しています。
Q4	総会のお土産について
A	お土産の配布については、新型コロナウイルス感染症の状況および株主平等の観点等を考慮し、昨年に引き続き見送っています。株主の皆様に対しては、配当や株主価値の向上で、還元を行ないたいと考えています。
Q5	社会貢献について
A	社会貢献については、環境、人権、ガバナンス等の観点で取り組んでいます。社会が取り組むべき課題としては、地球温暖化、資源の枯渇、自然災害等がありますが、当社の持つリソースや、当社製品の提供、そして、これらを支える C S R への取組みにより、当社は社会に貢献できると考えています。具体的には、環境対応車へのバッテリーの供給、再生可能エネルギー対応や電力の効率利用、社会インフラの安定に資する製品の提供等によって貢献していきたいと考えています。

Q6	サンケン電気株式会社からの事業譲受けに際して、移籍する従業員に対する配慮等について
A	<p>サンケン電気株式会社からの事業譲受けは、リストラを伴うものではなく、移籍してきた従業員に不利益を与えるものではありません。電源装置市場は、IoT の普及に伴うデータセンターの新設・増設や国土強靱化政策を背景とする非常用電源市場の拡大、再生エネルギーの普及拡大や分散型電源の普及拡大等による新たな市場の創出等、成長の余地が大きい市場と見込んでおります。当社グループが培ってきた技術力・開発力等とのシナジー効果によって競争力が高まり、持続的な成長が期待できると見ております。なお、シナジー効果については、調達力強化、調達コスト削減、蓄電池の内製化によるコスト低減、保守サービス体制の強化、販売チャネルの拡大等、広く期待できると認識しています。</p>